

助産診断技術学(ローリスク)

ナンバリング:N3-S2-L03

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 西里 真澄 講師		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

周産期にある対象がより健康で安全かつ主体的に各期を過ごすことができるよう、妊娠期および産褥期を中心に正常経過にある対象の健康状態の診断と助産ケアの基本について体験的に学修する。具体的には、妊娠期の助産過程(事例展開)と助産ケア、産褥期の助産過程(事例展開)と助産ケアについて体験的に学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

妊娠経過および産褥期に伴う健康状態の変化とこの時期におけるアセスメントの基本を学ぶことにより、母児の健康状態の助産診断方法と健康の保持・増進に向けて必要な助産ケアを考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 妊娠・産褥期の健康状態のアセスメントに必要な基礎的知識を説明できる。
2. 妊娠・産褥期の対象の身体的、心理社会的変化と適応状態を診断し、助産ケアを立案できる。
3. アセスメントに基づいた援助技術の基礎知識を用いて、妊娠・産褥期の助産過程が展開できる。
4. 母乳哺育に関するケアの基本的知識を用いて、乳房ケア技術を実践できる。
5. 正常からの逸脱を早期に発見するための観察とアセスメント、予防・対処方法をロールプレイにて実施できる。
6. 妊娠・産褥期の模擬事例に対して必要な知識を用いて教育的な支援ができる。

・授業日程

【講義】

会場：マルチ3-A実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/8 火 2限	<p>【授業内容】 妊娠経過に対応したアセスメントと助産ケア(講義・ディスカッション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠各期に行われる主な検査項目と結果のアセスメントについて説明できる。 ・妊娠経過に応じた母子のアセスメントと助産ケアについて、ディスカッションを通じて理解できる。 <p>【関連するSBO】 1、2、3</p> <p>【事前学修:60分】 母性看護方法論(2年後期)の講義内容のうち、正常な妊娠経過ならびにルーチンで行われる検査の正常を中心に復習する。</p> <p>【事後学修:90分】 妊娠経過と検査結果によるアセスメントの要点を復習する。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
9/8 火 3限	<p>【授業内容】 日常生活における健康問題および出産準備に向けたアセスメントと助産ケア(講義・ディスカッション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の日常生活において生ずる健康問題をアセスメントし、それに対する助産ケアについて説明できる。 ・妊娠期における親準備ならびに出産準備をアセスメントし、これらを促進する助産ケアについて説明できる。 <p>【関連するSBO】 1、2、3</p> <p>【事前学修:60分】 母性看護方法論(2年後期)の健康維持のためのセルフマネジメントの内容を復習する。</p> <p>【事後学修:90分】 日常生活における健康問題に対するアセスメントの要点と助産ケアについてまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師

9/8 火 4限	<p>【授業内容】 妊娠期の助産過程①（グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の事例に基づき助産過程を展開できる。 <p>【関連するSBO】 1、2、3</p> <p>【事前学修:60分】 第1回授業の事後学修内容を説明できるようにする。</p> <p>【事後学修:90分】 妊娠期の時期に応じた妊婦健康診査の展開について要点をまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
9/10 木 3限	<p>【授業内容】 妊娠経過のアセスメントに必要な助産ケア（演習）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の経過診断に必要な助産ケアの技術を習得し、実践できる。 <p>【関連するSBO】 1、2、3、5、6</p> <p>【事前学修:60分】 母性看護方法論(2年後期)で学修した妊娠期の観察方法を復習</p> <p>【事後学修:90分】 演習で示された事例に対応する助産診断とケアの要点をまとめる。</p>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師
9/10 木 4限	<p>【授業内容】 妊娠期の助産過程②（ロールプレイ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の助産診断に基づく助産ケアを概観しながら、想定される場面の演習を通じ、助産師の役割について具体化できる。 <p>【関連するSBO】 1、2、3、5、6</p> <p>【事前学修:60分】 既習の知識に基づき、妊娠期における助産師の役割が述べられるように準備する。</p> <p>【事後学修:90分】 妊娠期における助産師の役割についてまとめる。</p>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師
9/15 火 2限	<p>【授業内容】 産褥期の助産過程①（ディスカッション）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産褥期における助産診断に基づく助産ケアを概観しながら、想定される場面の実践を通じ、助産師の役割について具体化できる。 ・産褥期の事例に基づき助産過程を展開することができる。 <p>(初回歩行場面、退院時の指導場面)</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、4</p> <p>【事前学修:60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性看護学演習(3年前期)の講義内容のうち、産褥期の正常経過と看護過程の展開を復習する。 ・母性看護学演習(3年前期)の講義内容のうち退行性変化を促進するケア・退院に向けての支援について復習する。 <p>・教科書(助産学講座7)p242～302を学修する。</p> <p>【事後学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日配布資料に沿って、産褥期の事例に基づく助産過程の要点をまとめる。 ・当日配布資料に沿って、事例に基づく助産ケアを立案する。 	成育看護学講座 高橋 淳美 講師
9/16 水 1限	<p>【授業内容】 産褥期の助産過程②(ディスカッション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産褥期における助産診断に基づく助産ケアを概観しながら、想定される場面の実践を通じ、助産師の役割について具体化できる。 ・産褥期の事例に基づき助産過程を展開できる。(初回授乳指導場面) <p>【関連するSBO】 1、2、3、4</p> <p>【事前学修:60分】 乳汁分泌機序、母乳育児の支援方法について要点をまとめる。</p> <p>ポジショニングとラッチオンのポイントについての復習。</p> <p>【事後学修:90分】 母乳育児の支援方法についての学びを事前学修内容に追記する。</p>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師
9/16 水 2限	<p>【授業内容】 産褥期の助産ケア(ディスカッション・ロールプレイ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産褥期において想定される場面の実践を通じ、必要な助産ケアを具体化できる。 ・産後2週間および1か月健診におけるアセスメントの視点を具体化できる。 <p>【関連するSBO】 1、2、3、4、5、6</p> <p>【事前学修:60分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書(助産学講座7)p242～302を学修する。 ・ロールプレイに関する配布資料に記載している必要な知識・技術の項目についてまとめる。 <p>【事後学修:90分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションやロールプレイでの気づきを抽出し立案した助産ケアを修正する(90分)。 <p>【期末試験に向けた取り組み540分以上】</p>	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ〔1〕妊娠期 第6版	我部山キヨ子他 編	医学書院	2021
教	助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩期・産褥期 第7版	我部山キヨ子他 編	医学書院	2026
教	母子健康手帳	岩手県健康福祉部子ども子育て支援室	吉田印刷	2025
教	根拠と事故防止からみた母性看護技術 第4版	石村由利子 編	医学書院	2026
教	助産業務ガイドライン 2024	日本助産師会助産業務ガイドライン改訂検討特別委員会 編	日本助産師会出版	2025
教	写真でわかる助産技術アドバンス 新訂第2版	中根直子 監 他	インターメディカ	2025

教:教科書

参:参考書

推:推薦図書

教	マタニティアセスメントガイド 新訂第5版	吉沢豊予子 編 他	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2023
教	マタニティ診断ガイドブック 第7版	日本助産診断実践学会(編集)	医学書院	2025
参	産婦人科診療ガイドラインー産科編2023 (PDF版) https://www.jsog.or.jp/activity/pdf/gl_sanka_2023.pdf	日本産婦人科学会 日本産婦人科医会	日本産婦人科学会	2023
参	病気がみえる vol.10 産科 第4版	医療情報科学研究所 編集	メディックメディア	2018

・成績評価方法

【総括的評価】 定期試験50%、グループワーク50%にて評価する。グループワークは授業内で配布する評価表に沿って評価する。
【形成的評価】 授業内容毎に小テストを実施し、理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績に反映しない。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
2～5.7	1		50					50
2～5.7	2～6				50			50
合計		0	50	0	50	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

小テストや事後学修ノートから多数の学生が理解していない内容について、次の授業やWebClassでコメントを伝える等、学生にフィードバックし、内容の理解と知識の定着を図る。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

助産師(別表2):助産診断・技術学

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

医療機関において助産師の実務経験を有する教員が、実践的な教育を事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義・演習	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義・演習用スライド投影
講義・演習	DVDデッキ	1	DVD再生
講義	書画カメラ(P-100)	1	講義資料投影
演習	妊婦体験ジャケット	2	妊娠経過の診断
演習	レオポルド触診用妊婦モデル	2	妊娠経過の診断
演習	コーケン母乳育児体験セット	2	母乳育児支援
演習	多目的実習用新生児モデル コーケンベビー	2	母乳育児支援
演習	産褥子宮触診モデル	2	産褥経過の診断